

ル大統領が日本資金凍結を断行して以來一切無電の連絡もなく航海を續けてゐた龍田丸一七五〇〇トンは本日船客二百四十七名内百名米人及びニュージヤージー絹糸工場への絹糸多量を積んで入港した。同船は日本郵船本社より命令ある迄出港しない模様である。其他米沿岸には日本船四十隻餘りがある日本船がドックに入る事は政府の許可が要るから海上で船客の受渡しを行ふものごみられる、日本資金凍結にも拘らず太平洋岸の日本商社は營業繼續すること。

◎蘭印、對日バーター制考究

△上海電（ロイテル電） 七月廿九日

（バタビヤ發）蘭印當局は日本とのバーター制通商實現の可能性ありや、如何につき考究中である。又日本の意圖を中間に於て邪變するものではないと云つてゐる。

外國宣傳情報

第七十一號

昭・一六・八・一情報局

本資料は外國發信局發信内容を其儘採録しあり、重慶又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的な報道も少なからざるべきを以て取扱には特に注意を要す。

◎在星港泰總領事、泰の日本との協同參加否定

在星港泰總領事の言として泰は日本から何等の要求受けたる事實なく日本のビルマ進撃に際しても泰國領通過することなし。英泰關係の良好希望を傳へられあり。

△チャイナプレス紙 七月二十七日

（星港二十六日發ロイテル電）泰國總領事ネチナチ氏は「日本が假令馬來乃至ビルマ攻撃を決意せりとも泰國領上を通過するが如きことなし。又大體日本は馬來攻撃に泰國を経由して其の龐大な地域より受難を避けるが如きことも考へられず假令之を行ふにしても若し泰

國が反抗せば日本は機械化部隊三十萬の兵力を要すべし従つて若し日本が馬來を攻取する
に決せば西貢及カムラン灣より直接之を行ふべし。

△暹羅電報 七月二十九日 支那語放送

(暹羅發) 泰國駐在シンガポール總領事はルーターの記者に對して、日本が泰國に領土の獨
立主權尊重を條件として東亞共榮圈への加入を要求したこの評が傳へられてゐるが、自分
は之に關して何にも耳にしてゐない。又その様な要求があり、日本が泰國に對し挑戦する
とは信ぜられない。泰國と英國との關係は良好である、と語つた。

◎泰英間に或種の了解接渉

(暹羅發) 泰國よりシンガポールに派遣された代表團は既に三週間滞在、關係官憲と接渉を
重ね、バンコックに歸ることになつたが團長はその結果が極めて満足すべき旨語つた。

◎米の對日石油禁輸近きも、日米段には至らぬべし

△民主電報 (U P 電) 七月二十六日 北京語放送

(華府發) ウエルズ米國務次官は昨日プレスコンファレンスに於て「ルーズヴェルト大統領
の在米日資金凍結に依り米國は今後日本の對米貿易を抑制し得べし、米國石油商は政府の
命に従ひ政府と合作すべきなり」と聲明。

△チャイナプレス紙 七月二十八日

(ロサンヂェルス二十七日 U P 電) 太平洋岸石油生産工業聯盟代表フォード・サウスは
對日石油輸出に關し次の如く述べ
「米國政府は對日宥和政策の手段として石油の對日輸出を認めあるが政府が之が禁輸断行
をなさんごせば吾人は常に政府に協力するの準備あり、吾人は國民の非難の對象となり
つも政府に協力しあるものなり、尙本年度に入りてより加洲より日本に輸出せられたる石
油は一千一百五十萬樽なり」。

△佛國文化電報 七月二十六日 上海語放送

(華府發) 上院外交委員會主席ジョージが二十三日極東情勢に關し發表せる談話に對しワシ
ントン政界人士は之を以て米責任筋の第一回表示なりと見做し米國は佛印問題に依り對日
作戰を行はず對日經濟制裁を實施すべきを知るを得べしとせり。

◎英、南米、メキシコの對日石油禁輸を懸念